

## 1 背景等

働く世代のがん患者の増加やがん治療の進歩等により、近年、働く意欲と能力があるにも関わらず就労を継続できない等のケースがあることが課題となってきた。

このため、平成24年6月に閣議決定された「がん対策推進基本計画」において、がん患者・経験者とその家族等の仕事と治療の両立を支援することを通じて、抱えている不安の軽減を図り、がんになっても安心して働き暮らせる社会を構築することが目標として掲げられた。

これを受けて愛知県では、平成25年3月に「愛知県がん対策推進計画（第2期）」を策定し、がん患者が治療と就労を両立できる環境づくりの推進及び職域と医療機関によるがん患者の治療状況に関する情報共有の推進を掲げた。

そして、この課題に関する現状把握や取組の方向性等について各分野の専門家の意見を聴取し検討するため、平成25年11月に「がん患者就労継続支援・がん検診促進検討会議」を設置し、がん患者の就労継続と働く世代に対するがん検診の促進の二つのテーマについて検討を開始した。

愛知県は、第1回会議での意見聴取を踏まえて、愛知県経営者協会加盟の企業に対して「がん患者の治療と就労の両立支援の現状等に関するアンケート調査」を、また、県内のがん診療連携拠点病院等に対して「がん診療連携拠点病院等におけるがん患者の就労支援に関する現状等調査」を実施した。

第2回会議では、この調査の結果及び他機関が実施した類似のアンケート調査の結果を基に事務局が提示した「現状と課題の整理及び取組の方向性に関する案」について検討を行った。※

第3回及び第4回の会議では、がん患者の就労継続に向けた環境づくりを進めるため、企業等、医療機関及びがん患者に期待される役割並びにこれらの役割が適切に果たされるよう愛知県等の行政機関が取り組むべきことについて提言としてとりまとめた。また、各主体において活用が望まれる書式についても監修を行った。

※ 会議のテーマのうち「働く世代に対するがん検診の促進」については、第2回会議において引き続き、「愛知県がん対策推進連携企業」（がんによる死亡率の減少のためのがんの予防、検診受診促進に関する普及啓発やがん患者の支援に積極的に取り組む企業として愛知県が指定）との連携や講演会、街頭啓発等を実施していく中で、働く世代を対象とした効果的な取組を行って推進していくこと等とされたことから、このテーマの検討については第2回会議をもって終了し、提言等は行わないこととした。